

## エグゼクティブサマリ

数ヵ月程前から、Facebookで見知らぬ人からの友達リクエストが増えているように思います。最近では「友達」になりすましてリクエストを送ってくるケースも増えています。友達だと思って承認しようとしたら、よく見ると漢字が1文字違っていたなど、巧妙なものもあります。これらのリクエストが悪意を持ったものである場合、不用意に承認をしてしまうと、相手にアカウントを乗っ取られてしまうことがあります。たかがFacebookの友達リクエストだからと気楽に何でも承認してはいけない状況になってきています。

今年6月には、元CIA職員により、国家安全保障局(NSA)などアメリカの情報機関に、Facebookを始めとするSNS加入者の個人情報が提供されていたことが暴露され、大きな波紋を呼びました。全世界のFacebookのユーザ数は10億人を超えたと言われていいますので、それが何らかの犯罪を目的としたものであるうが、何らかの統制を目的としたものであるうが、個人情報を手際良く集めようと思った時に、とても便利なツールであることに間違いありません。

インターネットがオープンで拡張性に富む基盤であるが故に、これまでにない便利さと同時に、これまでにない危うさも同居しています。その両面をきちんと理解した上で、便利さを享受し、危うさにはきちんと対応して行く姿勢が、基盤の運用者、そして利用者にも今後ますます求められるようになるでしょう。

本レポートは、このような状況の中で、IJがインターネットというインフラを支え、お客様に安心・安全に利用し続けていただくために継続的に取り組んでいる様々な調査・解析の結果や、技術開発の成果、ならびに、重要な技術情報を定期的にとりまとめ、ご提供するものです。

「インフラストラクチャセキュリティ」の章では、2013年4月から6月までの3ヵ月間に発生した主なインシデントを時系列に並べ、分類し、月ごとに概要をまとめると共に、期間全体での統計と解析結果をご報告します。また、対象期間中のフォーカスリサーチとして、ZeroAccessとそのIOC(Indicator of Compromise)について解説します。

「メッセージングテクノロジー」の章では、不正な手段でアカウントと認証情報を入手した第三者による、不正SMTP認証について取り上げ、2013年4月から6月までの直近13週間の不正SMTP認証アクセスの動向を分析し、傾向の変化について報告します。

「ブロードバンドトラフィックレポート」の章では、IJが運用しているブロードバンド接続サービスの、2013年6月3日から9日の1週間分のトラフィックデータを分析し、前に行った2012年5月28日から6月3日の分析結果と比較します。また、過去6年間の月平均トラフィックの推移に着目し、この期間に起こった2回にわたる著作権法改正や、東日本大震災がブロードバンドトラフィックに与えた影響について分析します。

「インターネットトピック」では、IJが「IJmio高速モバイル/Dサービス」において、2012年2月、世界に先駆けて提供を開始したユニークな料金プラン、オンラインチャージングを実現する仕組みについて解説します。

IJでは、このような活動を通じて、インターネットの安定性を維持しながらも、日々改善し発展させて行く努力を続けております。今後も、お客様の企業活動のインフラとして最大限に活用していただくべく、様々なソリューションを提供し続けて参ります。

執筆者:



浅羽 登志也(あさば としや)

株式会社IJイノベーションインスティテュート 代表取締役社長。株式会社ストラトスフィア 代表取締役社長。1992年、IJの設立と共に入社し、バックボーンの構築、経路制御、国内外ISPとの相互接続などに従事。1999年より取締役、2004年より取締役副社長として技術開発部門を統括。2008年6月に株式会社IJイノベーションインスティテュートを設立、同代表取締役社長に就任。2012年4月に株式会社ストラトスフィアを設立、同代表取締役社長に就任。